

2024年7月21日

「愛に従って」

ローマの信徒への手紙 14:13-23

早川 真牧師

パウロは、自分自身の食べ物によって心を痛める兄弟がいるならば、それはもはや愛に従って歩んでいないとローマの信徒たちに勧告しています。この愛に従って、とは、キリストの愛に従って、という意味です。キリストは神であったのに人となられ、私たちの罪の身代わりとして裁かれ十字架の上で死んでくださいました。それは人の救いのために、自分の権利を放棄する愛です。このキリストの愛に従って歩むことがクリスチャンの生き方であるとパウロは語っています。キリストは御自分の神の子としての権利を放棄して、私たちのために十字架にかかってくださいました。そのことによってご自分を信じる者たちに神の国を与えてくださいました。神の国とは、聖霊によって与えられる義と、平和と、喜びであると言われています。義とは本来正しいものではありませんが、イエス・キリストを信じるだけで神の前に正しいものとして立つことができるということです。平和とは私たちと神との関係、また私たちと隣人との関係から敵意が取り除かれ、和解が与えられるということです。そして喜びとは、そのような私たちの根源的な悩みが解決された、救われたことに対する喜びです。聖霊は私たちにこの義と平和と喜びを与えるだけでなく、与えられたこの神の国を広げていくことができるように導いてくださいます。この聖霊の助けによって、互いに裁き合うのではなく互いに赦し合う、キリストの愛に従う歩みへと共に押し出されてまいりたいと思います。